

坂和総合法律事務所

事務所だより

第13号 2009（平成21）年盛夏号

編集・発行：坂和総合法律事務所

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目4番6号

西天満コートビル3階

TEL06(6364)5871・FAX06(6364)5820

メール office@sakawa-lawoffice.gr.jp

HP <http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp>

ブログ <http://sakawa.exblog.jp/>

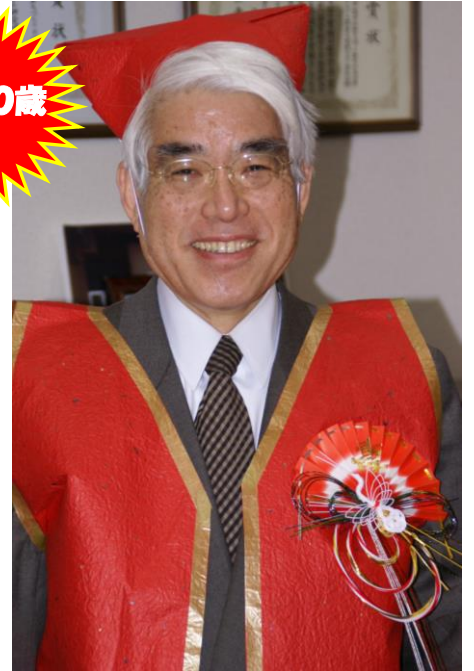
事務所メンバー写真

坂和総合法律事務所、全員集合！
チームワークよく、暑さに負けず
がんばってます。

（写真左上から）



祝！60歳



1)

暑中お見舞い申し上げます。

2009（平成21）年盛夏

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

事務所の近況報告（弁護士業務編）

～坂和弁護士より

- ◆いくつかの大事件は無事終結したが、骨のある中小事件は結構多い。また監査役として東京への月1回の出張にも慣れ、それが業務拡大の一助にも。やはり私の本業は弁護士だと認識することも多いから、皆様ご安心を！

事務所の近況報告（出版編）

～坂和弁護士より

(1)『シネマルーム22』以降は？

- ◆02年6月の『SHOW-HHEYシネマルームI～二足のわらじをはきたくて～』の出版から09年5月の『シネマ21』まで、7年間に21冊を出版。しかし、売れ行き不振で在庫の山。こりゃたまらん！そりゃ年間4冊も出版しては、いくら『シネマルーム』ファンでもその購入はしんどい？
- ◆そこで『シネマ22』以降は、次のとおり方針をCHANGE！①親た映画の評論はすべて書き、ブログに載せる、②他方、出版は年2回とし、上半期ベスト50、下半期ベスト50を選んで出版する、③但し、今後は出版コードのない自費出版とし、『シネマルーム』ファンには無料で配布する。つまり、『シネマルーム』の出版は「稼げない出版事業」と位置づけ、実務書など「稼げる出版事業」とは明確に一線を画するわけだ。
- ◆これに伴い、現在『シネマ1～21』の在庫無料配布セール（送料のみ負担）を大胆に実施中！総索引付きで全巻揃えば約1500本の評論だから、きっとあなたも映画博士に。お申し込みは別紙で！

(2)『景観・眺望をめぐる法と政策』は？

- ◆懸案となっているのが、民事法研究会の『景観・眺望をめぐる法と政策』の出版計画。国立マンション事件の1審、2審、最高裁判決（02年12月～06年3月）、04年6月の景観法の制定によって、わが国の景観・眺望行政は大きく舵を切り換えることに。これを受けて、同法により自動的に景観行政団体となる政令指定都市や中核市以外の先進的な市町村は都道府県知事の同意を得て景観行政団体となり、景観計画（景観計画区域）や景観地区の指定に向けて実践的な検討を開始している。
- ◆とりわけ注目されるのは、京都市が07年3月に制定した新景観政策の一つである眺望景観創生条例。これは抽象的になりがちな眺望や景観を明確に定義づけし、山並みや歴史的な建物への眺望を遮らないよう建物等の高さを標高により規制する眺望空間保全区域を創設するなど画期的な内容を含んでいる。したがって今は、「景観・眺望をめぐる法と政策」をまとめるのに絶好のタイミング。
- ◆さらに私は、09年4月から茨木市の都市景観委員に就任し、同市の景観計画・景観条例づくりに関与することになったからさらにタイムリー。
- ◆このようにネタの仕入れはほぼ完了したから、あとは執筆を頑張るだけ。何とか今年中には・・・。

(3)『映画から学ぶ裁判員』（仮題）は？

- ◆ベルブックスの営業部長緒形勝実氏と今年4月1日に東京ではじめて会い、同月8日、緒形氏とライター・福島茂喜（ペンネーム 柳下要司郎）氏が事務所に来所した。「映画と法律の両方に詳しい坂和先生の特技を出版に活かさない手はない！」というおだてに乗り、その後着々と2本の出版計画が進行した。
- ◆第1は『こんなとき、こんな映画をみるといい』（仮題）の企画。気になる中身は「第1章 この映画を見れば、あなたは絶対元気になる」として「スカッと気分を晴らしたいとき」「とにかく腹を抱えて大笑いしたいとき」など興味

津々なもの。

- ◆その打合せ中の6月23日、急遽路線変更となり、目下急ピッチで作業を進めているのが、第2の『映画から学ぶ裁判員』（仮題）。これは5月21日施行され、8月に第1号が始まる裁判員裁判を理解するため、あの映画、この映画から学ぼうというもので、まさに私のやりたい企画とピッタリ一致。現在既に目次とピックアップする映画はほぼ決定。あとは、いかにうまくまとめるかという段階に入っている。
- ◆あなたもいつ裁判員に選ばれるかもしれない状況下、こんな本が出版されたら、きっと購入意欲が湧くのでは？

(4)『取景中国』（中国語での出版）は？

- ◆昨年8月にスタートした中国語による『坂和的 中国旅紀行・電影紀行』（仮題）の出版が、ついに09年8月実現！タイトルは『取景中国 framing china』に決定！これは中国旅行大好き、中国映画大好きな弁護士の目で「中国の一部を切り取ったもの」という意味で、表紙（4頁参照）は少数民族が多い雲南省の美しい雪山と棚田。ページをめくれば旅と映画にちなんだ美しい写真がいっぱいだ。中国の人口は日本の10倍以上の13億人。それをターゲットにした販売促進のため、8月中旬に上海で開催されるブックフェアに出席し、サイン会に臨む予定。乞うご期待！

TOPICS

～中国語会話に挑戦！その到達点は？

- ◆毛丹青氏が「中国の街を読む」の連載を開始した、NHKラジオ講座『まいにち中国語』のテキスト4月号をもらったことを契機として始めたのが、中国語会話の勉強。你好！謝謝！から始まった勉強は既に4カ月。テキストは書き込みだらけ、ノートもかなりの量に。新幹線の中はいつもICレコーダーでお勉強。耳と口と手を総動員した勉強スタイルと集中力は、司法試験の受験勉強以来だが、意欲に追いつかない時間不足が悩ましい。
- ◆月～金曜日は毎朝8時15分から15分間は事務所の机に座り、ラジオ講座をICレコーダーに録音しながら、お勉強。15分経過後は再生しながらその復習。そして事務員が来た後は、ヘッドホンに切り替えて一人で書き、しゃべっているからその姿はかなり異様？試写室通いの自転車の上でも、頭の中は中国語会話で一杯。いつも独り言を言っているのは、私的にはレッキとした中国語会話だが・・・。
- ちなみに、そんな私の学習状況を中国語で表現すれば、
①我是听广播 讲座 学习的。(私はラジオ講座を聴いて勉強しています)
②已经 学了 四个月。(もう4カ月勉強しています)
③我觉得 汉语 的 发音 很难。(私は中国語の発音はとても難しいと思います)
④汉语 难 是 难, 可是 对 我 来说 很 有意思。(中国語は難しいのは難しいけれど、私にとってはとても面白いです)
- ◆「60歳の手習い」とはよく言ったものだが、イライラするのは記憶力の低下。それを補うにはくり返しの努力しかない。と自覚し日々精進しているが、さてその到達点は？会話相手をしてやろうという人は、是非ご指導を！8月の上海でのブックフェアが度胸試しの好

舞台だかきて？
坂和章平とすばらしき人たち～交遊録
その6～作家 高嶋哲夫氏

- ◆今年2月から中島奈緒さんが新しく事務局スタッフに
加わりました。坂和との作業の呼吸もだんだん合ってきて、
一步一步着実に成長しています。
彼女のお父さんは厳しい方で、坂和弁護士に似てよく怒
鳴る(?)とのことで、怒鳴り声には免疫があるようデ
す。頼もしい限りです。
皆様、事務所に来られたときには「がんばれ～」と声
援をよろしくお願い致します。
- ◆古株（嶋津・細谷・永田）と中堅（金子・稲井）は、変
わりなくがんばっています。

事務所の近況報告（事務局編）
～嶋津事務局長より

坂和宏展（ひろのぶ） 新米弁護士奮闘記 ～第6回～

- ◆坂和宏展の息子の坂和宏展です。私が今住んでいる東京では、7月12日に東京都議会議員選挙が行われ、民主党が大躍進。政権交代も近いのでは、と実感させられた一日でした。この事務所便りが発行されるころには日本の政治に「チェンジ」が起きているかもしれませんが、私たち国民の目にハッキリと分かる「チェンジの効果」はあるのでしょうか？単なる「看板の掛け替え」に終わらないよう、選挙の時だけ一喜一憂するのではなく（選挙権の行使もしないのはもっと問題ですが）、常に社会のあらゆる問題に関心を持つという国民の態度こそが、日本の政治にとって最大の「チェンジの要件」なのではないかと思う、今日この頃です。
- ◆さて、一国の政権交代のような大きな話ではありませんが、私も来年4月から大阪に戻り、大阪の弁護士として新たな第一歩を踏み出す予定が固まってきました。これは、私にとって大きな「チェンジ」ですが、これを我が家全体、そして事務所にとっての「チェンジの機会」に

することができるかどうか、これが一つの課題になると（個人的には）思っています。自分の能力や実力を向上させる必要があるのはもちろんですが、加えて「自分らしさ」を発揮し、頼んでよかったと思ってもらえる弁護士でいられるよう、日々自省を重ねたいと思います。

- ◆ところで、大がかりな出来事がなくても、「チェンジの機会」は日常のどこにでも転がっていたりするものです。たとえば、「明日から5分早起きする」「夕食のおかずを一品減らす」「毎日1駅分歩いて通勤する」・・・どれもこれも、実践すれば健康によさそうだとわかっていても、なかなか実行に踏み切れないというのが、我々凡人の性（さが）というものではないでしょうか。難しいのはチェンジの中身ではなく、チェンジできるかどうかであり、その積み重ねが大きな変革につながっていくのかもしれない。さて、私たちの生活はチェンジできるのでしょうか。

- ◆『0（ゼロ）からの風』の塩屋俊監督との交遊録は09年新年号で紹介した。彼は俳優と映画監督の他、アクターズクリニックの主宰者としても東京と大阪を掛け持ちして多忙な日々を送っているが、昨年12月13日にその大阪のアクターズクリニックで開かれた忘年会でお会いしたのが、『ミッドナイト イーグル』の原作者である高嶋哲夫氏。高嶋氏は1994年に『メルト・ダウン』で第1回小説現代推理新人賞を、1999年に『イントゥルーダー』で第16回サントリーミステリー大賞・読者賞をダブル受賞、そして2000年に『ミッドナイト イーグル』を世に送り出してきた。最近『風をつかまえて』が大ヒット中。
- ◆塩屋監督は映画俳優らしく風貌も精悍でしゃべり方もシャープだが、私と同じ1949年生まれの高嶋氏の風貌は普通のオッチャン（失礼）。また、しゃべり方もどちらかというと朴訥系（またまた失礼？）。しかも、慶応義塾大学工学部と大学院を卒業し、日本原子力研究所研究員を経て、カリフォルニア大学に留学したという経歴だから、どちらかというと小説家ではなく学者さんのイメージ？そんな彼がなぜ小説家に？と少し不思議だが、ミステリー大賞を受賞するようなややこしい方程式を構築したり解いたりするのは、理科系の頭の方が適しているのかも？
- ◆07年12月8日に観た『ミッドナイト イーグル』の総評で私は「北朝鮮の核開発問題をめぐって6カ国協議が続いている昨今、格好の映画が登場！特殊爆弾を積んだステルス爆撃機が北の上空を飛行しているとしたら？その機体が日本の某所に墜落したとしたら？日本国の危機管理体制を考え、かつその中

での家族愛を考えるに絶好の素材だが、料理の仕方はイマイチ。北の工作員はこんなバカばかり？なぜ、邦画ってこんなに緊張感が欠如しているの？私は、そう思わざるをえないのだが・・・。」と書き、採点は星3つ（『シネマルーム18』107頁参照）。またその評論では疑問点として、①某国の工作員はバカばかり？②幕僚たちもバカばかり、③あんなに簡単に銃が撃てるの？④なぜ待機しないの？なぜ攻撃しないの？⑤内閣総理大臣は敬礼するの？⑥西崎と慶子は「呼びすて」にするような仲？と書いたが、それに対する原作者の反応は？

- ◆忘年会では、その日観たばかりの『252 生存者あり』の評価をめぐって、面白かったという高嶋氏と、「あれはくだらなかった」と主張する私が激突。他方、12月3日に観た『感染列島』をめぐっては、彼が執筆を狙っているパンデミック系作品との関連で話が盛り上がった。高嶋氏は講演でも全国から引っ張りダコで、1年中あちこちを飛び回っているが、こんな議論のやり方をみていると、彼の講演もきくと面白いはず。
- ◆その後続いているメールのやりとりの中では、新作の執筆意欲も満々で、時代劇にも進出？新型インフルエンザ騒動は収まったが、秋冬に再度襲来するかもしれない「パンデミック」をテーマとした新作の準備状況は？私が予定している『映画から学ぶ裁判員』（仮題）と同様、タイムリーに出版できれば大ヒットまちがいなしだ。7月7日生まれの彼も遂に還暦。還暦を迎えた者同士、年齢を超えたパワーで互いに刺激を与え続け合いたいものだ。



北京（撮影）・上海（出版打合せ）旅行記 （09年3月24日～27日）

- 1) 08年8月22～24日の上海旅行では、日中のバイリンガル作家毛丹青氏と一緒に上海錦鏤文章出版社を訪ね、中国語による『坂和的中国旅紀行・電影紀行』（仮題）出版の打合せを（事務所日より第12号掲載）。その後翻訳などのメイン作業は完了。そこで今回は、写真撮影のためまず北京へ。続いてデザインと潤色の打合せのため上海へ。
- 2) プロの女性カメラマンが撮影した写真①は、張藝謀（チャン・イーモウ）監督作品に縁の深い陳小東さんの北京事務所における対談風景。バックは『HERO（英雄）』（02年）の巨大なポスターだ。黒のタートルネックとツイードのジャケットがいかにも知的？

（写真①）



写真②は、「旅」をテーマに東四条の胡同（フートン）で撮った写真。天気は快晴。前日とはうって変わり、チェックのシャツにベスト、その上に紺色のブルゾンそしてページのマフラーがピッタリ。まるでプロのスタイリストが決めたみたい？ 1日目は約70枚、2日目は約200枚撮影した中からベストのものを2枚だけ厳選し、本の中に載せる予定だ。

（写真②）



- 3) 中国では夜の会食が大切。酒も飲めないのでは腹を割った話をするのができず、人脈形成も無理だが、その点私は人一倍大丈夫。北京の夜は、私の愛読書『人民中国』の総編集長である王衆一さんや、編集者で近時日本でも大ヒットしている余華の小説『兄弟』（上下）の翻訳者でもある泉京鹿さんらとの中身の濃い会食（写真③）。このおかげで、『人民中国』6月号にはしっかり『シネマ21』の紹介が。

（写真③）



- 4) 3日目、上海の上海錦鏤文章出版社では午前中みっちりデザインと潤色の打合せ（写真④）。実務作業はこれで完了し、昼食の後、夜の会食までの時間は潤色担当の美女の案内で上海博物館の見学（写真⑤）。

（写真④）



少し時間が余ったので、昨年に続いて再度、日経新聞連載中の高樹のぶ子作の『甘苦上海』の舞台の1つ田子坊を見学し、すばらしい音の風鈴を購入（写真⑥）。

- 5) 毛丹青氏の最近の活躍は、

（写真⑥）

①神戸市外国語大学の客員教授就任、②私が09年4月から中国語の勉強を始めるきっかけとなった、NHKラジオの『まいにち中国語』での「中国の街を『読む』」の連載、③上海テレビの対談番組への準レギュラー出演など、目覚ましい。そのため、毛さん主催の最終日の会食は、上海電視台のキャスター李蕾さんをはじめとする豪華メンバーに（写真⑦）。

（写真⑦）

やったね！

中国で出版デビュー！

昨年8月にスタートした中国語による『坂和的中国旅紀行・電影紀行』（仮題）の出版が、ついに09年8月実現！タイトルは『取景中国 framing china』に決定！これは中国旅行大好き、中国映画大好きな弁護士の目で「中国の一部を切り取ったもの」という意味で、表紙は少数民族が多い雲南省の美しい雪山と棚田。ページをめくれば旅と映画にちなんだ美しい写真がいっぱいだ。中国の人口は日本の10倍以上の13億人。

それをターゲットにした販売促進のため、私は上海で開催されるブックフェアに出席し、サイン会に臨む予定。乞うご期待！



『ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る』(SHOW-HEY シネマルーム21)

坂和章平 著

著者の本業は大阪を拠点に都市問題などに取り組む弁護士。2007年には北京電影学院にて特別講演、『坂和的中国電影大観』と題した中国映画評をまとめた著作もあるなど中国との縁も深い。出張時などをのぞいてほぼ毎日のように映画を観るという著者の、熱い映画評74本を収めた本作はシリーズ第21巻。洋画、アジア映画、日本映画のあらゆるジャンルの作品をおしなべてカバーし、『レッドクリフ Part 1』『おくりびと』など記憶に新しい話題作の映画評も。（文芸社 2009年5月）

『人民中国』2009年6月号79頁より転載

第8回天神祭懇親パーティー報告 ～嶋津事務局長より

- 1) 7月25日(土)、坂和事務所で恒例となった天神祭懇親パーティーを開催しました。

事務局長のひとりごと（嶋津淳子）

坂和弁護士は1月26日に無事に還暦を迎え、真っ赤な帽子に真っ赤なチョッキは嫌がるのかと思いきや、予想に反してノリノリでシネマ21の表紙まで飾り、「憎（？）かわいい」面を見せてくれました。また4月以降は、ヒマがあればヘッドホンをして、小声で「ウォ」とか「シィ」とか「ニン」とか中国語の勉強に励んでおり、何かを始めるのに遅いということはないんだな～と身をもって教えてくれています。ただ実際に中国語で会話をしているのを見たことはないの、それを見ると努力が報われないこともあるんだな、ということ学ぶことになるかもしれませんが（笑）。

これを読んだ坂和弁護士が「くそっ！」と更に発奮するのをみて楽しみたいと思います。

事務局次長の奮闘記（金子友次朗）

いくつになっても、好きなこと、夢中になれること、目標（夢）がある、ということはステキなことで、またその思いに共感してくれる人と出会うことで人生が豊かになるんだなと坂和弁護士を筆頭にう～み、摩耶明子さんなど熱い人たちがたくさんいる環境のおかげで実感しています。

最近白髪が群れをなして生えてきたため、坂和弁護士に「青春を返せ～！」と訴えてみましたが、身体が年をとるのはどうしようもないので、この際白髪やシワなど身体からの「年とったサイン」には目をつむり、ステキな人や物との出会いを楽しみ、心豊かでありたいと思う今日この頃です。

★★★う～み応援団より★★★ う～みの2ndアルバム

『愛されているあなたへ』

（2,000円（税込）、品番：BZCS-1062）

が5月27日に発売されました！！

吉本興業の小藪千豊さんに提供した『プリン』、高知の四万十川エリアのお茶産業の応援歌『CHA×3』、幕末の日本の開港から150周年の今年、函館市からの依頼で出来た『港函館』などバラエティーに富んだ楽しくて、元気になって温かい気持ちになれるう～みワールド全開の1枚です。現在う～みは『紅白出場！』を目指して奮闘中です。皆様の応援（CDの購入）をどうぞよろしくお願いします！！



カラオケ部屋

坂和章平の自宅住所変更のお願い

坂和の自宅住所は次のとおり変更しています。住所録の変更がまだお済みでない方はお手数ですが、訂正をお願いします。

〒530-0047

大阪市北区西天満3丁目8番4号 朝日プラザ西天満1201号

電話 06-6312-1789 FAX 06-6312-1789

映画評論家『SHOW-HEY』の部屋
～夏休みとその前後のお薦め作品～

『嗚呼 満蒙開拓団』(日本映画)

(09年8月1日より第七藝術劇場にて公開)(羽田澄子演出)

今ドキの学生諸君は「満蒙開拓団」と聞いてもキョトンとして
いるらしい。日清・日露戦争以降の近代史をちゃんと学ばなくっ
ちゃ。テーマは1つ。そして監督の思いも1つ。今、語り継がな
ければ!今、学ばなければ!

『花と兵隊』(日本映画)

(09年8月15日より第七藝術劇場にて公開)(監督:松林要樹)

20代の監督が、なぜこんな映画を?それはタイ・ビルマ国境
付近で展開された戦争の実態と、敗戦後の意志的未帰還兵がいた
ことへの興味。撮影中に2名も死亡した平均年齢90歳となる6
名の旧帝国軍人はなぜ現地に残り、結婚し、土地に根を張った
の?「援蒋ルート」や「インパール作戦」そして「白骨街道」を
知っている人は?さらに、人肉を喰ったことについての証言は?
しんどいけれど、やっぱり学ばなければ!

『3時10分、決断のとき』(アメリカ映画)

(09年8月22日よりシネ・リーブル梅田にて公開)

(監督:ジェームズ・マンゴールド)

今ドキ西部劇はあたらな。そんな偏見(?)のため日本公開
が遅れたが、久々に重厚な人間ドラマを堪能。やっと捕えた強盗
団のボス(ラッセル・クロウ)を裁判によって処刑。そのため、
3時10分発の列車に!貧乏な牧場主(クリスチャン・ペイル)
は200ドルのために命がけの護送を続けたが、対立する男同士
の中で生まれる不思議な絆とは?そして、あっと驚く結末とは?
こりゃ必見!

『ちゃんと伝える』(日本映画)

(09年8月22日よりなんばパークスシネマにて公開)

(監督:園子温、主演:AKIRA(EXILE)、奥田瑛二、伊藤歩)

裁判員裁判で1番大切なことは「ちゃんと伝える」ことだが、
それが難しい。父親がガンで入院したため、逆に父子関係が良好
になったのはラッキーだが、息子までガン告知を受けるとは。恋
人にそれをちゃんと伝えることができるの?『愛のむきだし』(0
8年)で世間をあっと言わせた園子温監督が、重いテーマを瑞々
しく演出。私の採点は星5つ。

『縞模様のパジャマの少年』(イギリス映画)

(09年8月より梅田ガーデンシネマにて公開)(監督:マーク・
ハーマン、主演:エイサ・バターフィールド)

『ライフ・イズ・ビューティフル』(98年)、『聖なる嘘つき
その名はジェイコブ』(99年)に続くホロコーストの悲劇を描
く名作が誕生!しかし、ドイツ語ではなく英語だから、星1つ減。
主人公はナチス高級将校の8歳の息子だが、タイトルとこの少年
が一致?それが本作のミソ。シェイクスピアの四大悲劇以上の、
あっと驚く悲劇の到来にビックリ!しかして、これは一体誰が悪いの?どうすればよかったの?

『幸せはシャンソニア劇場から』

(フランス、チェコ、ドイツ映画)

(09年9月よりシネ・リーブル梅田にて公開)(監督:クリスト
フ・バラティエ、主演:ジェラルド・ジョニョ)

時代は1936年。世界大戦前夜。不況のあおりで閉鎖された
劇場を舞台とし、アコーディオンの天才少年を軸に展開される人
間模様は実に面白い。歌姫の復帰と「フォーブル36」の結成、
興行の成功、劇場の買戻しと幸せが続く中、ある日起きたあっと
驚く悲劇とは?日中戦争に突入するあの時代の日本と対比しな
がら、フランスの芸人たちの明るさをこの映画から!

『空気人形』(日本映画)

(09年10月公開)(監督:是枝裕和、主演:ペ・ドゥナ)

空っぽな代用品、性欲のはけ口である空気人形が心を持ったら?
カンヌでの受賞は逸したが、摩訶不思議な傑作が誕生!ペ・ドゥ
ナの個性的な顔立ちが、一人二役にピッタリ?冒頭にみる中年男
の侘しさ、恋に落ちた空気人形の切なさ、そしてかつての大ヒッ
ト曲『東京砂漠』に共通する(?)空虚さ、を味わいながら、「心
を持つこと」の功罪と切なさを考えたい。やはり、映画は企画と
脚本が生命線!

坂和総合法律事務所 業務時間

平日 午前9時~午後6時

土曜日 午前9時~午後3時

(業務時間外の相談をご希望の方はお申し出下さい。)

相談にこられる際は日時の予約をしていただき、

関係資料を一式持参して下さい。

また相談内容のメモを事前にFAX

もしくはメールにていただければ幸いです。



お車で来られる方は
アクセスマップ
(車・タクシー用)を
参照して下さい。

事務所のホームページ
<http://www.sakawa-lawoffice.gr.jp/sub1-3-2007chizu.pdf>

から印刷していただ
か、連絡をいただきま
したらFAXします。

シネマルームをプレゼントします！

◆02年の『SHOW-HEYシネマルームⅠ～二足のわらじをはきたくて』の出版に始まる『シネマルーム』シリーズはパート21まで完成しました。映画を通じて、たくさんのステキな方々と出会い、人生、歴史、法律など様々なことを楽しみながら学ぶことができました。私の映画評論を読んで、是非みなさんにも映画のすばらしさ、学ぶことや考えることの楽しさを知ってもらいたいと思いますが、私の熱い想いはなかなか届かず、事務所のシネマルーム1～10、13～15と出版社の11、12、16～21の在庫がかなりの量になりました。そこでこの際、シネマルームを読んで楽しんでいただける方にシネマ1～21を**無料でプレゼント**することとしました。この「シネマルーム認知度アップ！計画」は3月からしており、読んだ方から感想をいただいたり、新たな出会いをもたせてくれています。私としては読んでいただくことが何よりうれしいことですので、遠慮は無用です。どしどし同封の申込用紙にてお申し込みを下さい。一部送料の負担をお願いしますので、詳しくは申込用紙をお読み下さい。



* 中国映画特集 *

中国大好き！中国映画大好き！なSHOW-HEYが自信をもってオススメする中国映画評論集



シネマルーム1～21掲載作品抜粋（全掲載作品数1501作品）

- シネマ1 ・ワイルドシングス ・パールハーバー・39〔刑法第三十九条〕 ・黒い家 など計44作品
- シネマ2 ・ホテル ・チョコレート ・ギャング・オブ・ニューヨーク・たそがれ清兵衛 ・壬生義士伝 など計75作品
- シネマ3 ・ラスト・サムライ ・エデンより彼方に ・裁判員—決めるのはあなた ・スパイ・ゾルゲ など計101作品
- シネマ4 ・ロード・オブ・ザ・リング王の帰還 ・トロイ ・海猿 ・世界の中心で、愛をさけぶ など計68作品
- シネマ5 (中国電影大観パート1) ・紅いコーリャン ・青い嵐 ・小城之春 ・春の惑い ・三国志 ・阿片戦争 ・山の郵便配達 など計66作品
- シネマ6 ・スパイダーマン2 ・80デイズ ・ハウルの動く城 ・オールド・ボーイ ・血と骨・チルソクの夏 など計81作品
- シネマ7 ・アビエイター ・ローレライ ・Uボート 最後の決断 ・CEO ・カーテンコール ・交渉人 真下正義 など計78作品
- シネマ8 (韓国映画特集) ・恋する神父 ・セックス イズ ゼロ ・亡国のイージス ・ヒトラー～最後の12日間～ など計75作品
- シネマ9 ・男たちの大和/YAMATO ・ルパン ・THE 有頂天ホテル ・単騎、千里を走る。 ・春の雪 など計70作品
- シネマ10 ・県庁の星 ・博士の愛した数式 ・連理の枝 ・カサノバ ・子ぎつねヘレン ・ブローックバック・マウンテン など計61作品
- シネマ11 ・パイレーツ・オブ・カリビアン/デッドマンズ・チェスト ・日本沈没 ・佐賀のがばいばあちゃん など計74作品
- シネマ12 ・父親たちの星条旗 ・硫黄島からの手紙 ・地下鉄に乗って ・フラガール ・王の男 など計75作品
- シネマ13 ・ドリームガールズ ・天井桟敷の人々 ・キササギ ・百年恋歌 ・NANA2 ・大奥 ・ダウト など計76作品
- シネマ14 ・007/カジノ・ロワイヤル ・ロッキー ・ザ・ファイナル ・それでもボクはやってない ・愛の流刑地 など計67作品
- シネマ15 ・オーシャンズ13 ・西遊記 ・傷だらけの男たち ・ミス・ポター ・長江哀歌 ・0 (ゼロ) からの風 など計79作品
- シネマ16 ・椿三十郎 ・アフター・ウェディング ・グッド・シェパード ・Uボート ・4分間のピアニストなど計72作品
- シネマ17 (中国電影大観パート2) ・インファナル・アフェアⅢ ・PROMISE ・墨攻 ・桃色 ・ココシロ など計83作品
- シネマ18 ・ノーカントリー ・ヒトラーの贗札 ・実録・連合赤軍 あさま山荘への道程 ・茶々—天涯の貴妃 ・母べえ など計76作品
- シネマ19 (韓国映画特集2) ・太王四神記 ・インディアン・サマー ・光州5・18 ・プレス ・スルース ・フィクサー など計85作品
- シネマ20 ・相棒—劇場版— ・幸せになるための27のドレス ・接吻 ・闇の子供たち ・ゲキ×シネ「メタルマクベス」など計78作品
- シネマ21 ・20世紀少年 ・レッドクリフⅠ ・まぼろしの邪馬台国 ・マンマ・ミーア！ ・おくりびと ・12人の怒れる男 など計74作品

プレゼント 第2弾！

好評発売中！！

『建築紛争に強くなる！

建築基準法の読み解き方

—実践する弁護士の視点から—

(民事法研究会 定価3,700円・税別)

日頃の感謝を込めて次の書籍も

希望者にプレゼントします。

H17の愛媛大学法文学部での「都市法政策」の集中講義をまとめた

『実況中継 まちづくりの法と政策4』

H13からH19までの津山再開発をめぐる闘争をまとめた

『津山再開発奮闘記—実践する弁護士の視点から—』

坂和弁護士が書いたコラム・評論等をまとめた

『がんばったで！31年ナニワのオッチャン弁護士評論・コラム集』